

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子

～未来につながる きずなの学校～



学校だより No. 8

令和 7年 9月 16日

伊丹市立伊丹小学校

校長 奥村 智香子

★令和7年度全国学力・学習状況調査結果速報★

本校は、「伝え広げ深め合う 協働的に学ぶ子どもたちの育成～学びがいのある授業づくり～」の研究テーマで授業研究を行っています。子どもたちには、学習のゴールに向かって、自分からすすんで課題を見つけ、自分の考えを持ち、粘り強く取り組んでほしい。仲間と話し合ったり、協力してまとめたり、つくったり、表現したりして、協働することのよさを感じ、自分に自信をもってほしいと考えています。小学校で培った子どもたちの力が、この先の社会を生き抜く力になるように職員一同、今後も授業力の向上に努めてまいります。

さて、令和7年 4 月17日(木)(学習状況に関する調査は21日(月))に6年生対象に行われた「全国学力・学習状況調査」(下記の1参照)について本校の結果等をお知らせします。なおこの調査で測定できるのは学力の特定の一部であり学校における教育活動の一つの側面です。

1 児童に対する調査

(1) 学力に関する調査〔国語・算数・理科〕それぞれ45分※下記①と②を一体的に問う

① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

(2) 学習状況に関する調査〔児童質問紙〕

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

昨年度に引き続き、タブレット端末を用いたオンラインによる回答方式で行われました。

2 学力に関する調査結果について

本校の結果は国語・算数・理科ともに全国及び県の平均を有意に上回る結果でした。

また、無回答率(何も書かない)が3教科とも低く、あきらめずに最後まで問題に取り組めたことがわかりました。

全国的にも正答率の低かった問題からは、教科の専門的な用語を理解すること、自分の言葉で説明する力が必要であるとわかりました。

本校においては、これまで意識して取り組んできた【書く力】を重視した授業づくり等の取り組みが、各教科の記述式解答率の高さに成果として表れていましたが、今後も文章の趣旨を正しく読み取り、条件に応じて表現する力、学習用語を使い自分の言葉で表現する力を高めていくように努めてまいります。

また、子どもたちが主体的に授業に取り組めるような授業づくり、様々な学習形態での学びを可能にする職員の授業力向上にも取り組んでまいります。

3 学習状況に関する調査結果について(◎は全国や県より有意に高い、▼は有意に低い項目)

児童質問紙のうち主な結果をお知らせします。課題意識をもって取り組んできた自尊感情に係る項目が向上しました。しかし、生活習慣については、課題が見られます。引き続き学校、家庭、地域での連携した取り組みにご協力をお願いいたします。

<自尊感情等>

◎自分にはよいところがある	89.6%
◎学校に行くのは楽しいと思う	88.0%
◎将来の夢や目標をもっている	89.7%
◎普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある(よく・ときどき)	97.3%
・人の役に立つ人間になりたいと思う	96.2%
・自分と違う意見について考えるのは楽しい	76.6%

<昨年度比較>

・87.1%
・85.9%
・84.3%
・89.9%
・98.3%
・74.2%



<生活習慣> ▼毎日同じくらいの時刻に寝ている 77.2% ▼毎日同じくらいの時刻に起きている 86.9%		<昨年度比較> ・80.9% ・94.4%
-------------------------------------------------------------	--	-----------------------------

<学習習慣> ▼自分で学び方を考え工夫することができている 75.5% ◎普段1日あたり1時間以上勉強している 57.0% ▼普段1日あたり30分以上読書している 28.8%		<昨年度比較> ・77.3% ・52.3% ・36.5%(R5)
--------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-------------------------------------------

<学習面での ICT 機器の活用> ◎ICT 機器を使ってプレゼンテーションを作成することができる 83.2% ◎ICT 機器を活用し自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる 80.5%		<昨年度比較> ・ - ・71.4%
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--------------------------

<これまでの授業について:主体的対話的な学び> ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している 66.8% ▼各教科で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動をしていた 69.6% ◎話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり新たな考え方に気づいたりする 87.5% ▼学習した内容を見直し、次の学習につなげることができる 73.9% ・友達やまわりの人の考えを大切に協力しながら課題解決に取り組んでいる 91.8%		<昨年度比較> ・67.9% ・63.2% ・88.2% ・82.6% ・95.5%
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-----------------------------------------------------------

これまでの授業の中で、自分の考えをまとめたり、話し合ったりしてきたこと、友達と協力しながら学びを深めていくことなど、取組を進めてはいるものの、まだまだ、授業改善が必要であることがわかりました。引き続き、子どもたちにとって学びがよいある授業、子どもたちが安心して学べる環境づくりに取り組んでまいります。さらに、生活習慣においても課題が見られました。先日、取り組んでいた「伊丹っ子健康元気チャレンジ」など、ご家庭と連携して学びの土台となる「心とからだの健康保持増進」にも取り組んでまいります。

1年生の時から学校と家庭とで協力して積み上げてきた学力・生活の成果と課題を共有し、生かすことで、未来を生きる子どもたちの幸せの実現をめざしていきたいと考えています。そのためには、学校と家庭と地域の大人たちが笑顔で連携したり、前向きに行動しようとしたりする姿を子どもたちに示すことが大切です。児童の学習環境や生活の諸側面等と学力には、相関関係がみられます。子どもたちが、前向きに周囲のひと・もの・こととつながり、未来を生き抜く力を身につけることができるよう、今後とも、連携してまいりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

調査結果の分析と今後の具体的な取組については、先日、学校運営協議会委員と職員が合同で行った学力向上研修のまとめと合わせ、後日「学力向上プラン」としてお知らせいたします。

(2) ひろさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり通しています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。

みおり $\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにするど、2+1を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。

ひろ $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。
 もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか、その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですが、数や言葉を使って書きましょう。

正答例) $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ のもとにする数を同じ数にするとき、その数は $\frac{1}{12}$ になります。 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{12}$ の9個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{12}$ の8個分です。

本校正答率 35.6% 全国正答率 23.0%